



## ごあいさつ

SK松本ジュニア合唱団

団長 芦田勝弘

本日はお忙しい中、SK松本ジュニア合唱団のコンサートに御来場頂きまして誠にありがとうございます。

本合唱団は1993年のサイトウ・キネン・フェスティバル（SKF）が初めて上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成されました。団員も徐々に増え、小学校2年生から高校3年生までの九十名余りの、歌うことの好きな仲間が集まり練習を重ねています。

子供達の成長と地域に愛される合唱団を目指して活動をしてきましたが、関係者のご支援で今年は10周年を迎えるまでになりました。この間内外の一流アーティストとの共演や各種演奏会への出演、福祉施設への訪問演奏などを通して貴重な体験を重ねてまいりました。技術を磨き、仲間を作り、子供たち一人ひとりがそれぞれの夢を育てています。地域や年齢を越えて子供達が集まり、心を合わせて素晴らしい音楽を作り上げる感動を通して、豊かな感性を育み、将来の夢に向かって伸び伸びと育てて欲しいと心から願っています。

今日のコンサートは合唱団設立10周年を迎えて、思い出に残るコンサートにしようと一生懸命頑張ってきました。初めての取り組みとなる混声合唱組曲や上條恒彦さんを朗読に迎えてのステージは団員にとって、また新しい発見があり次のステップに昇るための新たなきっかけになるものと信じています。

このように子供達が歌うことを通しての仲間づくりや、音楽の素晴らしさを実感できる活動を続けていられるのも、長野県松本文化会館や松本市関係の皆様、また温かく見守って下さっている地域の皆様方と、子供達の思いを正面から受け止め、指導して頂いている素晴らしい先生方のおかげと関係者一同心から感謝申し上げます。

これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

本日のコンサートを十分にお楽しみ下さい。